



VOL 6

2008年1月号
発行 2007年12月26日
日本山岳会 山岳地理クラブ
URL www.jac.or.jp/doukoukai/

2007年を振り返って より積極的な提案をおねがいしたい

代表 北野忠彦

山岳地理クラブは発足して7年を経過した。当初はあまり縛りのない、それぞれが興味のあることを中心とした活動が続いていたが、JAC100周年記念事業としての中央分水嶺踏査が提唱されてから、甲子峠から大川峠の間がわれわれの担当となって約3年、その探査の遂行が最高目標となり、いわばクラブの総力を注いできた。その内容については、近いうちに特集としてクラブ員に配布されることになっている。

この中央分水嶺踏査が終わって、これから何を目標にしていくか、いくつか意見が出されたが、そのうちの、会報を定期的に出すことと、読図(山)行をある程度組織的に行なうことが了承されて、着々と進められていることは喜ばしいことである。そのほかに、旧道・古道を歩いてみたいと言う声も前から上がっているが、まだ実現しておらず、その実現については、手軽に行けるところなどの提案があつて望ましいのではないだろうか。

また、大分水嶺の総仕上げ的な意味合いも込めて行なつた、羽鳥湖スキーのような懇親山行も年に何回かはあつてもよいのではないだろうか。

これからさらに楽しいクラブにするためにも、いろいろな提案をお願いしたい。

AGC 7年の歩み

地図を片手に、山岳地形の観察、三角点や、水系・分水嶺の確認、雪形や林相、植生の観察、古道・廃道の調査・・・などなど 一味違った山の楽しみ方を模索していこうという趣旨で集まることにしたAGC・山岳地理クラブもいつの間にか7年になります。ここで簡単にいままでの経過を記しておき、今後の参考としたい。

2001年

- 3月7日 AGC 発足 第1水曜日を例会日とする 参加10名
- 5月26日 一等三角点・相模野基線を尋ねる 参加7名
- 11月11日 武相三角網探索会 参加6名
- 12月16日 鹿野山と房州大山を尋ねる 参加5名

2002年

- 4月20~21日 丹沢山と丹沢の分水嶺を歩く 参加10名
- 8月31日 八風山(一等本点)から物見山 参加8名
- 11月2~4日 三宝山(一等本点)から千曲源流 参加11名

2003年

- 4月12~13日 毛無山に富士山麓の分水嶺を探る 参加9名
- 11月9日 相模野基線網を歩く(第2回)参加10名

2004年

- 3月21日 相模野基線網を歩く(第3回)
- 5月21~23日 踏査・大倉山より西側のルート調査、参加5名
- 7月3~4日 踏査・大峠~三本槍岳 参加9名
- 7月31日 鷹尾山の三角点見学ハイキング 参加5名
- 8月27~28日 踏査・大峠~三倉山分岐 参加5名
- 9月11~12日 踏査・甲子峠~甲子山 参加7名
- 10月2~3日 那須基線見学&踏査・甲子山 参加14名(公募)
- 11月13日 踏査・番屋川遊行~1489峠 参加5名

2005年

- 1月6日 実践講習「GPSとカシミールの連動」
- 4月2~3日 予備調査・黒滝股山へのアプローチ 参加5名
- 5月2~5日 あの山踏査 黒滝股山より北東ルート&南西ルート)参加9名
- 7月10日 番屋川遊行・番屋のコル 参加5名
- 7月16~17日 踏査・三倉山~番屋のコル 参加4名
- 7月18日 踏査・鏡沼~坊主沼 参加4名
- 7月23~24日 踏査・大川峠北上 参加8名

- 7月31日 踏査・大川峠~上海岳 参加9名
- 8月17~18日 踏査・上海岳~大萱峠へ 参加3名
- 8月27~28日 踏査・大萱峠 参加4名(会員外2名)
- 9月17~18日 踏査・旭岳 参加3名
- 10月23~24日 予備調査 隔田沢遊行~稜線へ 参加3名
- 11月11~12日 踏査 番屋川~番屋のコル~反射板跡 参加3名

2006年

- 1月28日 読図・金沢自然公園付近 参加11名
- 5月3~5日 踏査 番屋のコル~赤柴山~黒滝股山付近「担当ルートが繋がった!」参加9名
- 8月19日 追加踏査・鎌房山東稜 参加4名
- 9月2~3日 追加踏査・大白森山~鎌房山 参加7名
- 11月19日 地図と測量の科学館見学と筑波山 参加8名

2007年

- 2月3日 読図 田浦梅林から仙元山 参加15名
- 3月17~18日 羽鳥湖スキー・鎌房山 参加11名
- 7月25日 AGC レポート創刊
- 9月9日 読図研修1 都内の測量遺跡をめぐる 参加15名
- 10月3日 地図整理開始
- 12月15日 読図研修2 水海道~交点~田園地帯 参加11名
以上(近藤メモより抜粋)



三本槍から旭岳(始)



赤柴山にて(完)

読図研修の案内

第3回・ハイキングコースで読図

2008年1月19日(土) 場所：奥武蔵・大高山周辺。
 小雨・雪の場合は中止、前日雪が降った場合も中止します
集合 西武秩父線 吾野駅 **午前9:00**
 一般向けハイキングコースを利用して、現在地点を常に追いか
 めながら歩きます。漠然と歩いていると、現在地点が判らな
 くなるコースです。
ルート：吾野駅-->前坂-->大高山(493m)-->天覚山-->東吾野駅
 地図 1/2.5万図「原市場」「飯能」
 装備 軽アイゼン
 担当 遠山元信 048-771-0053 まで必ず申し込みを。
 申し込みしませんと、中止の場合連絡しません。

第4回・ハイキングコース2

2008年2月16日(土) 場所：三浦半島・金沢自然公園付近
集合：京急金沢文庫駅 AM9:00 行程：駅...金沢自然公園...
 大丸山...円海山...瀬上池...JR 港南台駅
 なお事前勉強会を1月または2月の例会時に行いますので、
 1/2.5万地形図「戸塚」・シルバコンパス、分度器、筆記具(43cm
 以上の線引きできるもの) ルーペ(任意)マップポインター(任
 意)等を持参ください (担当・鶴田)

行ってきました！ 報告

第2回 障害物のない平地(田園地帯)での読図

平野 彰

小春日和の12月15日(土)9時 関東鉄道常総線 水海道
 駅前に11名の参加者が集まった。雨で順延になった11月10
 日とは打って変わっての日和である。

出発に先立ち、本日の世話役でリーダーの遠山さんから地図
 のコピーが渡されコースの説明があり、まず地図上のA地点ま
 で各自到達するよう指示があった。駅前から北東700mで踏切を
 渡り、さらに国道294号越えて鷲神社を過ぎると、小貝川の土
 手に当たる。

1/2.5万図ではこの本流に小さな橋が架かっているが、
 現在は撤去済みでやむなく700mほど上流の大和橋を渡ること
 にした。この間土手で距離の感覚をつかむため、各自歩幅の
 測定を行った。目測での50mの見当をつけ、さらに巻尺での測
 定結果は70歩前後であった。この土手は小貝川桜堤と呼ばれ、
 遊歩道にもなっていて、散歩や自転車の通りも多い。河川敷の
 芦は屋根材として繁茂していたがそれも少なくなり、河原の植
 物もノウルシアマナ、チョウジソウ、ハンゲンショウ等種類も
 少なくなっていると言う。大和橋を渡ると、遠山リーダーから
 次の目標は東経140度00分00秒、北緯36度00分00秒の交点
 との指示があり、また五つの班に分け各班毎それぞれのルート
 で暮盤の目のように整備された農道を高圧送電線の位置なども
 確かめながら、目標へと向かった。青空の下後方からやや霞ん
 だ筑波山が我々を見守っているかのようだ。無線交信の訓練も
 兼ねながら、10時40分 交点の近くに到着、これまで使用禁
 止のGPSを取り出し掘り起こされた田んぼの中に踏み込む、
 各班前後しながら交点に到達した。

次のポイントは日村社の日枝神社前の宮戸新田の三角点で
 ある。11時10分「神徳の森」の碑の前にある。標高11.4mの
 三等三角点に到着。近くで遊んでいた女兒の質問に三角点の説
 明のサービスもして、石塔のみの神社に参拝して、そこを後に
 した。つくばみらい市役所前加藤の水準点10.1mは谷原小学校
 校庭の片隅に埋設されていた。苦心の末空けたマンホールの中
 には二等水準点が設置されていた。すぐそばにはこの学校の位
 置を示す標識があり、さすが地理に関心のある地域であることを
 感じさせる。確認後市役所駐車場の陽だまりの一角を借り昼

食をとる。

次の目標は高速道の反対側にある標高10.9mの4等三角点
 である。13時8分着。更にもいれい田んぼを横切ったりの近道
 を選びながら13時38分成瀬本田到着。鳥居には「飯島神社」
 とあり社殿の脇には中をくりぬいた直径30cm長さ2mほど竹
 のタガのはまった丸太が数本転がっていたが、花火打ち上げ用
 の筒なのか。ここから片野さんを先頭の主力部隊のほか3班に
 分かれたチームはそれぞれの目標に向かうが、水路の改修や
 「つくばエクスプレス」工事の名残が道が錯綜して、目標の遠
 表の三角点10.0mには14時11分着。平坦の場所ながら意外と
 てこずり、各班ばらばらの到着であった。しかしながら4等三
 角点でNO.045-328は用水の改修のため無残にも掘り起こされ、
 他の残骸とともに撃ち捨てられていた。最後のポイント「間宮
 林蔵記念館」は時間の関係で、守谷駅直行となった。我が班は
 子貝川の土手を南下するコースを取るが途中氾濫の多い川のため
 ここでも工事中の箇所がある。橋の袂の水神社で今日の無
 事完了を感謝し、全員勢揃い(14時50分)後駅に向かった。全
 コース約14kmを歩き終え、新装の駅前のレストランでは楽し
 い打ち上げとなった。



どこまでも続く田園地帯

図書・資料の紹介

山田 明著「劔岳に三角点を！」桂書房 ¥1,500-
 劔岳3等三角点設置の経緯と測量官の思いが伝わる書

例会の議事録

2007年12月5日(水) 19:00~20:10 於JAC集会室A
 出席者 10名(北野、平野、近藤、大西、鶴田(実)、鶴田(泰)、片
 野、高橋、遠山、今井(順不同))
 内容： 1. 11月中止の第2回読図研修会を12月15日(土曜日)
 に行う。集合時間、場所に変更なし。参加の片は必ず
 048-771-0053(遠山会員)に申し込みのこと。第3回は1月19日
 (土曜日)に奥武蔵・大高山周辺を計画、軽アイゼンを準備されたい。
 (遠山) 2. AGCレポートの分水嶺特集版は40ページ弱になる。費
 用の一部を会員各位に負担願う方針が進める。今後のためにも振り
 込み口座を開設予定。(近藤) 3. 2月16日予定の地図読み第3
 回(三浦半島)の準備説明と、新規格の2.5万分の1の地図につい
 て従来版との違いについて講習。(鶴田実)
 終了後は「鯨の家」にて懇親会(10名) 以上(文責今井)

お知らせ

次回の例会

日時 **2008年1月9日(水)** 18:30から 於：ルーム
 テーマ：読図研修報告、ほか
 例会終了後の懇親会も是非出席ください
 なお、同日15:00から地図整理を行います

編集後記

>いつのまにか7年が経過したAGCですが、この先のテーマ
 がいろいろ出てきつつあります。今後も積極的な提案をお待ち
 しています。皆さんよい歳をお迎えください (kon)

AGC レポート vol-6 2007年12月26日発行
 発行：日本山岳会・山岳地理クラブ
 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 日本山岳会 気付
 TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
 編集担当：近藤 E-mail：hikarikon@nifty.com